

# 令和元年度事業報告について

(第36年度)

平成31年4月 1日から

令和 2年3月31日まで

## I 公一1 森林、林業の啓発と緑化事業

森林やみどりは、地球温暖化の防止、局地的豪雨の頻発等に対応した山地災害の防止、生物多様性や景観の保全、環境教育や森林セラピー等による健康づくりの場としての利用、緑豊かで潤いのある日常生活環境の確保など多様な機能を持っており、国民が安全で安心して暮らすことのできるようそれら機能を十分に発揮し得る森林・みどりづくりが求められています。

健全な森林づくり、森林・林業の再生、緑豊かな生活環境づくり等について、県民に正しく理解してもらい、参加を促すための様々な取り組みが必要です。

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の規定により長野県が定めた「長野県森林づくり指針」に沿って、行政、NPO、地域住民との様々な形での協働を通じて多くの県民の参加を得ながら、地域の実情やニーズにあった森林の整備や身近な生活環境の緑化等に関する実践的活動に重点をおいて事業の推進に努めました。

### 1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施しました。

#### (1) 情報誌の発行等

##### ア 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深めるため、4月の緑化シーズンに併せて緑化キャンペーンを行うほか、新聞広告、機関誌の発行、その他参考資料の配布を行いました。

長野県植樹祭及び基金事業の森林教室の告知広告の実施 4月20日

機関誌の発行 「緑の基金」No.35 2019 October (9月) 2,000部

国土緑化推進機構 広報誌(グリーンモア)の配布 年4回

緑化推進団体・関連機関外 820部

##### イ 緑の情報サービスの推進(ホームページによる情報発信)

当基金が関わる各種行事、森と水の絵本のPR、緑の募金の使途報告など、ホームページを用いて情報を発信し、広く県民の森林づくりや環境緑化への実践参加を促進しました。

ホームページ「長野県みどりの情報サービス」トピックス提供 17回

##### ウ 森林と水をテーマにした絵本づくり

子どもたちがふるさとの森林と川と人との関わりについて、思いを深めることができるように、仮称「森のくまさん3」の発刊に向けて、シリーズ作者の藤岡牧夫氏と調査した候補地から、南信地区(下伊那地域)の森を対象に引き続き取材調査を進めるとともに、絵本原案の作成を委託しました。

## 2 県民の集い等の開催

- (1) 令和元年度ふるさとの森づくり県民の集い（第70回長野県植樹祭）の開催  
令和元年6月8日(土)木曾郡木曾町三岳の御岳ロープウェイ黒沢御岳国有林において、豊かな県土の基盤である森林・緑に対する県民的理解を深めるために、令和元年度ふるさとの森づくり県民の集い（第70回長野県植樹祭）を長野県・木曾町・中部森林管理局等と共催しました。（参加者約1000人）
- (2) 森林教室の開催  
ふるさとの森づくり県民の集いに併せて、長野県森林インストラクター会等の協力のもと一般県民参加者を募集して、森林教室（自然観察会）を開催し、県民が自然に触れ親しみながら森林・林業に関する知識や理解を深めていただくよう努めました。  
開催場所 油木美林（植樹祭会場から約10km 御岳山四合目） 参加者数 73人
- (3) 地区緑化推進団体による森林の感謝祭などの開催  
緑と水の森林ファンド事業（国土緑推）の助成を受け、地区緑化推進団体の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹などの体験型行事等を実施しました。

## 3 講演会の開催等

- (1) 緑に親しむ集い  
樹木観察や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、県民が森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、県林業総合センターの体験学習施設と共催で、定期的に森林整備作業、自然観察などを取り入れた様々な体験型の集いを開催しました。  
年間17回開催 参加者227組 470人（うち子ども156人）
- (2) 森林フォーラム  
身近な里山の森林整備を推進するため、「森林フォーラム」を長野県、林業関係団体等と共催して実施しました。  
開催テーマ 「しごと改革！安全な労働環境、安全対策を考える  
～オーストラリアから学ぶ林内路網整備と労働安全・事故防止～」  
開催日 令和元年8月1日（木）  
場 所 ビッグハット会議室5（長野市）
- (3) 野鳥愛護思想の啓発  
小・中学校を対象に、児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など、野鳥愛護の実践活動に対し（一社）信州の緑と野鳥を守る会を通じて助成しました。  
諏訪市湖南小学校以下5校（小学校4校 中学校1校）

## 4 森林づくり等実践参加の促進

### (1) 林業関係等コンクールの開催

林業関係等コンクールを長野県、林業関係団体等と共催で実施し、健全な森林づくりや環境緑化等に係る様々な活動や成果を顕彰し、県民の実践参加を促進しました。

#### ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

森林づくり、森林環境教育などに優れた功績があった方の顕彰や小・中学校、高等学校の児童・生徒への環境緑化思想及び野生鳥類の保護の高揚を図るためのコンクールを長野県、林業関係団体と共催で実施しました。

表彰式 令和2年1月30日(木) 県庁講堂

##### ・ふるさとの森林づくり賞

森林環境広育推進の部 長野県緑の基金理事長賞 1団体

##### ・林業関係ポスター等コンクール

国土緑化・育樹運動ポスターの部 長野県緑の基金理事長賞 12名

愛鳥週間用ポスターの部 長野県緑の基金理事長賞 11名

#### イ 木工工作コンクールの開催

小・中・特別支援学校の児童・生徒が木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割を学び木の文化を大切に作る心を育てるため、身近な木材を活かして自由な発想で創作した木工・工作作品のコンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施しました。

表彰式 令和元年11月3日(日) やまびこドーム(松本市)

長野県緑の基金理事長賞 1作品 (応募作品数 4,279点)

### (2) 森林環境教育指導者研修会の開催

子どもたちが自然に親しみつつ森林の役割や森林づくりの重要性などについて体験的に学習できるよう、長野県の森林の現状をはじめ、森林環境教育に関する知識や森林に親しみながら理解する手法等の研修会を教育指導者である教職員を対象に開催し、それらの習得を支援した。

開催日 令和元年10月30日(木) 会場 飯山市なべくら高原・森の家

参加者 北信地域小中学校教諭(18名)

### (3) 学校林等の整備・活用

#### ア みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業普及指導員がコーディネーターとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備等を行う団体に助成した。(事業見直しにより令和元年度をもって終了)

長野市立西条小学校みどりの少年団以下 12団体

(少年団育成会 1、小学校少年団 1、中学校少年団 1、小学校 6、中学校 1、高等学校 1、擁護学校 1)

#### イ 学校林を活用した森林環境教育促進事業(国土緑化推進機構 直接事業)

学校林を活用して、小・中学校の森林環境教育(林業体験活動を含む)を促進するため、森林環境教育を学校と連携して行う団体等に対し助成しました。

令和元年度 緑の基金推薦・国土緑推決定1団体

実施校 安曇野市立穂高西中学校（事業者 穂高西中学校PTA）

ウ 子どもたちの未来の森づくり事業（国土緑化推進機構 直接事業）

未来の子供たちに豊かな国土を引き継ぐために、小中学校生の「森の学び」を支援するとともに森林環境教育のフィールドとして地域のシンボルとなる森づくりの取り組みに対し助成する事業。（令和元年度応募なし）

## 5 都市緑化等の環境整備

（1）学校環境緑化モデル事業（国土緑化推進機構 直接事業）

学校環境の緑化を通じて、青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小・中学校敷地内及び周辺の環境緑化、環境教育のフィールドの整備（樹木の植栽・芝生化、樹木の手入れ、ビオトープ等）の取り組みに対し助成しました。

令和元年度 緑の基金推薦・国土緑推決定 3校

実施校 大町市立大町西小学校、長野市立豊栄小学校、坂城町立南条小学校

（2）全国都市緑化フェア（4月～6月開催）の実行委員会に参画し都市緑化を促進した。

基金の関連事業として、長野県みどりの少年団連盟と共催して行う、長野県みどりの少年団交流集会を5月11日に信州花フェスタ会場「長野県松本平広域公園」で実施しました。

## 6 その他

国土緑化運動・育樹運動標語の募集

県内の小中学校生及び一般より募集のあった作品70点の中から8点を長野県から推薦し、各県の推進作品を中央で審査された結果、令和2年用標語として本県から次の1点が入選しました。

「豊かな緑 育てて守る つなげる未来」（木曾町中学校1年生）

## 7 基本財産の運用益

基本財産の運用益については、受取利息収入として当初予算5,233,150円を見込んだところ、決算額は、190,730円減の5,042,420円となりました。

## 8 出捐金の内訳

令和元年度末

5億8,985万6,019円

（前年度よりの増加額）

0円

〈内訳〉

・長野県	150,000,000円	(25.4%)
・市町村	123,000,000円	(20.9%)
・民間	316,856,019円	(53.7%)

## Ⅱ 公一2 緑の募金事業

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念にある「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりとみどりづくりの大切さの普及啓発に努めました。

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調期間」中、4月1日のキャンペーン初日に、県内4校の高校生とともに県庁に知事・副知事を訪問し緑化運動等への協力を依頼、4月27日には長野駅周辺において、県内3校の高校生たち、中部森林管理局、長野地区緑化推進委員会及び長野県の協力の下に街頭募金を実施しました。

また、各種広報を通じて募金活動を進めるとともに、緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めました。

その結果、令和元年の緑の募金の寄附は、全県で総額約7,573万円と目標額8,000万円に対して94.7%の達成率でした。

この募金により、地区緑化推進団体への交付金を通じて県内各地区の実情に応じた森林の整備、緑豊かな生活環境づくり、次代を担う子供たちの育成などを推進するとともに、緑の募金による公募事業を広く周知し、健全な森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的活動を支援したほか、みどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動を長野県みどりの少年団連盟を通じて促進しました。

### 1 緑の募金活動事業

#### (1) 緑化推進の啓発宣伝

##### ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、ラジオ等によるPRを「緑化推進特別強調期間」中（4月1日～5月31日）等を実施しました。

- ・ 新聞広告掲載 4月上旬（信毎、朝日、毎日、読売、中日、産経）  
4月中下旬（信毎 森林教室の参加募集を兼ねる）
- ・ 市町村広報への掲載依頼（市町村ごとの特徴的な緑化活動を特集記事の掲載）
- ・ ラジオCM 4月1日～14日（14日間）AM、FM 各1社

このほか国土緑化推進機構がラジオCMを実施

令和元年3月1日（金）～4月29日（月・祝）の月・水・金曜日の週3回

県内は信越放送

- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ  
4月1日（月） 県知事・副知事訪問  
高校生15名（須坂創成・長野西・更科農業・屋代南）、県林務部と合同実施  
4月15日（月） 県議会に緑の羽根を配布し着胸を依頼
- ・ 街頭募金による広報活動  
4月27日（土）長野駅前

- ・ 長野の林業 募金広告（募金告知・ピンバッチ寄附）

#### イ 企業等と連携した募金活動

- ・ 長野トヨペット(株)「ふれあいグリーンキャンペーン」 5月24日  
緑化木及び職場募金の寄付 受取者 知事
- ・ (一社)長野県環境保全協会の協力を得て、会員企業約400社に募金への依頼を行いました。

#### ウ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病虫害等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を実施しました。

相談窓口 地域振興局林務課  
診断委託先 一般社団法人日本樹木医会 長野県支部  
一般社団法人長野県造園建設業協会

#### (2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行いました。

#### (3) 募金活動の推進

令和元年の緑の募金額8,000万円を目標に緑の募金活動を行いました。

特に、4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調期間」を中心に、チラシ、新聞などを利用し広く緑の募金を呼びかけつつ、家庭募金、企業募金、職場募金、街頭募金などの募金活動を県・市町村等行政機関、地区緑化推進団体、みどりの少年団等と連携し、展開しました。

- 4月1日(月) キャンペーン初日PR活動の一環で県庁・林業センター・県長野合同庁舎内を巡回し職場募金
- 4月27日(土) 長野駅前において街頭募金  
高校生14名(須坂創成・長野西・更科農業・屋代南)、中部森林管理局、長野地区緑化推進委員会及び県林務部の協力により実施
- 6月8日(土) 県植樹祭会場の緑の募金ブースに募金箱設置、また森林教室バスツアー車中での募金協力依頼
- 10月13日(日) AC長野パルセイロホームゲームでの街頭募金を予定したが、東日本台風被害拡大により中止

## 2 公募事業の実施

特定非営利活動法人等緑の募金公募事業の要件を満たす団体が、環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を推進するために行う事業を公募し、内容を審査の上、交付金を交付するとともに、事業者には緑の募金により事業を実施したことを明示

するよう依頼しました。

交付対象 17 団体 交付決定額計 1,999,400 円

### 3 緑化の推進等

#### (1) 森林の整備

森林整備についての県民の意識の向上と理解を深めるため、植栽、下刈、除間伐などの森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して助成(交付金)しました。

#### (2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係る森林の役割等の周知を図るため、各地区で行われる講演会・研修会の開催に要する経費、山火事防止の広報活動等に助成(交付金)しました。

#### (3) 公園等公共施設の緑化

##### ア 学校緑化

学校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)しました。

##### イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)しました。

#### (4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを促進するため、緑化木頒布会の苗木等の購入の経費を助成(交付金)しました。

#### (5) 植樹・育樹祭等行事

森林を守り育てる意識の高揚等を図ることを目的に地区緑化推進団体や市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催の経費を助成(交付金)した。

#### (6) コンクール・講演・研修会

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等の開催に係る経費を助成(交付金)しました。

#### (7) 第67回全国植樹祭県民植樹会場活用事業

第67回全国植樹祭に併せ整備された県民植樹会場を活用するため、県民植樹会場活用支援事業により支援しました。(令和元年度をもって終了)

#### 4 みどりの少年団育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて、森林・林業の重要性を理解し、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るく育つよう、県内のみどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動について、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに、地区ごとの特性・実情に応じて地区緑化推進団体からも団に対し活動助成金等を交付する等、みどりの少年団の実践活動及び結成促進を支援しました。

なお、長野県みどりの少年団連盟と共催して行う、長野県みどりの少年団交流集会を5月11日に信州花フェスタ会場「長野県松本平広域公園」で実施しました。